町報

第194号

発行所
宮崎県門川町
門川町役場
電話③1140番

印刷所
宮崎県門川町
工藤印刷
電話③1143番
③2276番

◇◇……町民待望の……◇◇

ゴミ処理と焼却場の建設始る

町内のゴミの出る量は日当り十五トンになりますが、このうち自家処理分が六、五トン町が集めるものが八、五トンとなります。町の焼却場の能力は六トンでありますから町が集める量の約三千%(二、五トン)は中山梅木の不燃物埋立場へ出している計算になります。

これに商店や事業所から出されるゴミは日当り四トン程度ありますので、合せますと六、五トンは埋立することになります。

この中には色々なものがあり特に腐れるものからでる悪臭、ハエ、野犬の集り、鳥のあつまりなど、附近の人達から苦情が度々出されております。

又ゴミは年々増し質も大変悪くなつていることや、今後の人口増など考えますと大々的に解決しなければならない時機にきていることから、焼却場を建てる計画で議会の皆さんと一緒になつていろいろと研究を重ねてまいりました。

その結果去る九月定例町議会において、万場一致で建設することに決定されました。施設についてのべますと、建設の場所は梅木の不燃物埋立場の西側の山の高さ二十五米のところで建物の面積が三、六〇〇平方米です。能力は日当り(八時間)三十トンで今後人口が増し連続的に使用するときは(十六時間)六十トンのゴミを燃やす力をもつています。

次に都合が良い点について

(一)魚かすやザンパンを燃やすことができること。

(二)煙りを予防するための電気式の集じん機が使用されること。

(三)焼き灰が水で処理する方法でないので汚水がでないこと。

などの長所があることから機種として、旭エンジニアリング株式会社が建てるBS式の焼却炉を造ることになりました。次に建設費については事業費と国の補助金については、現在厚生省と交渉中で確定的ではありませんが、施設、敷地造成道路、土地買収、補償等含めますと四億一千六百四拾九万一千円となり、このうち補助金一億四千九拾六万四千円、起債二億四千九拾万円、町費三千四百六拾二万七千円となります。

その外才入で新産都市関係で補助金の嵩上げ二〇%前後が見込まれています。

以上のような多額の予算で新しい焼却場が本年度から翌年度の二ケ年間にわたり建設される運びとなりました。そこで如何に立派な近代的な施設ができても、これを正しい使い方をしなければその能力を出すこともできないばかりか炉の損料もはげしくお金の無駄使いにもなりかねません。従つて今後のゴミの出し方や、持ち込みゴミの出し方、建築廃材、不燃物の出し方など詳しい大事な点については、次号にのせ各家庭の皆さん方の御理解と御協力をお願いしたいと存じます。

年末年始の交通事故を防ごう

年末年始の交通安全運動が12月20日(火)から1月10日(火)までの20日間に亘り実施されます。本町から悲惨な交通事故を出さないよう、又、交通事故に合わないよう町民の皆さん一人一人が交通安全の主旨を充分御理解下さいまして、御協力下さいますようお願いいたします。

特に年末年始は、もつとも人や車の往来の激しい時期で例年重大事故が数多く発生しています。みんなで特につぎのことを守つて年末年始の交通事故を防止しましょう。

(1)スピードの出し過ぎや、無理な追越しは絶対にやめましょう。

年末から年始にかけては先を急ぐあまり、ついスピードの出しすぎや無理な追越しをしがちですが、これらの違反は重大事故の直接の原因となつていますので運転中はいつも車の状況、道路状況、交通状況等をよく考えその状況に対応して常に安全が保たれるような速度と方法で走ることを忘れないようにしましょう。

(2)飲酒運転は絶対にやめましょう。

年末年始にかけては、酒類を飲む機会も多くなりがちですが酒を飲んだら絶対に運転しないよう。又、周囲の人も親切と勇気を持つて飲酒運転の防止につとめましょう。

(3)過労、居眠り運転はやめましょう。

年末はとかく残業等で過労運転になりがちです。安全運転のために体調を充分整え、過労、居眠り運転に充分注意しましょう。

(4)横断歩道、交差点での事故を防ぎましょう。

年末年始にかけては、車の往来や人通りも多く、交差点や横断歩道附近での追突事故や人身事故の多発が予想されますので、交差点や横断歩道附近ではスピードを落し、安全運転につとめましょう。

また歩行者の皆さんも正しい歩行や横断につとめ、交通事故に合わないようみんなで気をつけましょう。

あそびません
とまつた車の
まえ　うしろ

とび出すな
車は急に
とまれない

献血ありがとう

不測の事故や病気の急変による輸血の量は、年々増加し献血の必要性はますます高まつています。更に医科大学附属病院の開設など輸血用血液の需要はますます増大してきています。

「人間は血液なくして、決して生命を維持することはできなく、かといつて人工的につくれません。」

だれが、何時、何処で不測の事故に遭遇するか予測することはできません。

「健康な時にこそ愛の献血」を。

去る十月二十八日に行ないました採血には、次の多数の方により献血していただきました。厚くお礼を申しあげますと共に、今後とも一層の御理解と御協力をお願いします。

献血者氏名
門川農業高校

岡田　朗　矢野善文
田芳昭　甲斐安範
向山梅男　柴田　岳
甲斐裕二　江野村政信
三浦浩樹　梅田淳一
長曽我部正市　柳田　真
渡辺勝行　森　繁樹
那須鶴義　甲斐喜一
高橋佳子　三原千代美
吉田美恵子　松田義政
長友憲一　黒田睦子
岩切里美　川島早苗
日高徳男　児玉弘美
三浦真悟　豊島都子
染矢将史　菊田浩義
田中二夫　山名孝則
甲斐恵美子　坂本仁司
池田一弘　金丸末広
黒木千代子　塩月　均
和田　貴　塩田久美子
黒岩光子　曽川省三
川野芳裕　上杉春美
黒木清高　佐藤正志
新名正文　大西浩三
吉野敦子　日高郁代
日高　勝
サンレル　河野和恵
金田むつみ　中村妙子
金田典子
野田幸雄
門川農協　横井嘉次郎
吉村満義　金丸基治
岩本史代　児玉政昭
津島一洋　中城新一
杉本　敏　安田元信
椿　陽子
門川町役場　安藤福松
江川朝伸　森　賢一郎
山松富士光　甲斐和美
松田千代子　池田公一
山本道明　麻田晋市
長渡恵美子　柳田隆晴
和泉満義　岩佐　誠
池田　保　牧野義博
長谷川義明　日高雄一郎
小林正春　平島直通
松本英毅　山口絹子
新産測量設計事務所
甲斐万理子　中島道子
松本喜美子
南　町　田爪畩弘
堀谷シゲ子　小川宗利
白木久子　飯干正美
平城東　白木道子
上の町　山口　清
吉村ヒロミ
五十鈴　梅木勇子
河津　宏　小島幸弘
本　町　志田都美子
日向市　木村荘一
駒田智文
東栄町　日高優司
川越安子　熊沢　敏

十一月二十九日開催された第十九回宮崎県公衆衛生大会において次の方々に、献血運動推進協力者として県推進協議会長から感謝状と記念品の伝達がありました。心よりお慶び申します

平城西　安田周平　金丸隆弘
城屋敷　安田精一
西栄町　岩佐　誠　井上克幸
上の町　梅木絹代
梅木和代　福田昭義
東栄町　川崎千早　添田幸正
上井野　黒木たかえ
加草四区　小早川勝
中　村　塩月ハツノ
下納屋　水野正義

総合文化祭盛大裡に終る

十一月の一ケ月間を費やして行なわれた各種文化祭行事は二十八、九日、中央公民館、門小体育館で行なわれた男子バレーボール大会を最後にその全ての行事を終了しました。

文化部門のトップをきつて三日、文化の日に中央公民館で開かれた、ラン、おもと展は、東臼杵寒蘭愛好会の手で町内はもとより東臼杵の各地から見事な寒蘭おもとが約五〇点が集められ観賞に訪ずれた約五〇〇人の愛好者の目を楽しませてくれました。

続く十三日宮崎県民謡会門川支部の主催で行なわれた民謡、民舞発表大会は今年で二回目、会場の中央公民館につめかけた約八〇〇人の観客の声援を受けて、五〇名の会員が日頃練習に励んだ成果を発表しました

文化祭の最大行事ともいうべき、美術、産業展は、二十三、四日の両日中央公民館において開催され、絵画、書道に八二三点、農水産物に一五〇点、手工芸品に一八三点、生花に二八点が出品され、期間中約三五〇〇人の観客が訪ずれました。中でも今年から行なわれた町婦人連協による不用品の販売には、主婦の人気が集中して、午前十時の開会後一時間足らずで売り切れてしまいました。

その売上金、五二、六五〇円はそのまま、町の福祉協議会に寄付されることになつています。

この外体育部門の結果は次のとおりです。

◎空手道大会
十月二十九日(日)
於　中央公民館
遠く、高千穂、岩戸支部からの参加を見、団体、個人戦にて技を競つた。

◎スポーツ少年団
ソフトボール大会
十一月三日(文化の日)
於　門川中グランド
○年長の部　九チーム参加
優勝　西門川小スポーツ少年団
○年少の部　三チーム参加
優勝　柔道スポーツ少年団

◎ソフトボール大会
十一月六日(日)
於　門中、門小、チムニツトグランド
二十一チーム参加
優勝　ドカベン
準〃　チムニツト

◎歩け、歩こう大会
十一月六日(日)
午前八時三十分、中央公民館に集合して中村防災ダム折返しの約九Kのコースを教育長を先頭に約百名の参加で歩いて体力づくりに汗を流した。

◎陸上記録会
十一月十三日(日)
於　門川農高グランド
小、中学生を中心に約百名の参加で記録を競つた。反省として一般参加が少なかつたことが残念であつたしかしながら約百名の観衆の応援を見、寒いながらも有意義な第一回目の記録会であつた。

◎野球大会
十一月十三、二十三日
於　門川中グランド
十チーム参加
優勝　田中病院
準〃　酒友クラブ

◎サッカー大会
十一月二十七日(日)
於　門川中グランド
○一般の部　八チーム参加
○少年の部　黒潮スポーツ少年団(土々呂)と門川少年団スポーツ少年団と対戦した。

◎卓球大会
十一月二十七日(日)
於　中央公民館
男、女団体戦
男、女個人戦

◎女子バレーボール大会
十一月二十日(日)
於　門川農高体育館
十チーム参加
優勝　田中病院
準〃　草川Aチーム

◎男子バレーボール大会
十一月二十八、九日
於　中央公民館
門小体育館
八チーム参加

以上、今年の文化祭行事は広範囲に行なわれましたが、その一つ一つが盛大に終りました。

この文化祭行事の運営にご協力いただいた、体育協会をはじめとする各民主団体並びに町内各学校の皆さん方、それぞれの行事に参加いただいた町民の皆さんに紙面をかりまして心から厚くお礼申し上げます。

(教育委員会)

成人式参加申し込み受付中!!

十一月の町公報号外号でお知らせしたように、只今昭和五十三年成人式参加申込みを受付けています。

あなたはもう申し込みをすませましたか!!

申し込みをしない方には案内通知はもとより、成人証書、記念品等はさしあげられません。

まだ申し込みをされてない方は、〆切が十二月二十日までとなつていますので早めに教育委員会まで申し込んで下さい。

連絡先
TEL③一一四〇
内線　四九、五十番

青年団合唱部全国を制覇

このたび本町青年団協議会が、第二十六回全国青年大会に出場するにあたりましては、多大なる御協力ありがとうございました。

本大会は、去る十一月十日から十三日まで国立競技場を中心に都内各会場において開催されました。

本町の青年団が四年連続して出場した合唱の部は、全国から二十八チームが参加する中に宮崎県代表の栄誉をにない日頃の練習の成果をいかんなく発揮、最優秀賞を受賞いたしました。

これもひとえに皆さまのご支援、ご協力があつたからだと部員一同深く感謝いたしております。

今後は、皆さまのご協力に謝し、この貴重な体験を青年団活動に生かし、明るい郷土づくりにまい進する所存です。

今後とも、変らぬ御指導御協力くださいますようお願い申し上げ、全国青年大会の出場報告をもつてお礼にかえさせていただきます

指揮　奈須まり子　上の町
伴奏　宮森恵子　〃
黒木俊枝　上井野
金丸利喜代　五十鈴
金丸裕子　加草
田中恵美子　中尾
新名邦子　上の町
和田信子　庵川西
米良富子　城屋敷
米良美智子　〃
渡辺若菜　上の町
佐藤和夫　竹名
原　浩二　上の町
本田芳秋　平城
幸森逸夫　上井野
池野弘典　栄町
和泉　盛　城屋敷

河川の美化　不用ビニールは焼却しましょう

第二十一回 財政事情の公表

この財政事情は、町民の皆様さんに町の財政がどのように運営されているか、また、どのような状況にあるかを広く知っていただくため、年二回公表しているものです。今回は昭和五十一年度の決算について、その概要を説明いたします。

昭和五十一年度決算については、八月十八日から九月五日までの間に町監査委員の決算審査に付し十一月の臨時議会において原案どおり認定を受けました。

一、決算の概要

先ず一般会計についての収支概況につきましては、第一表に示すとおりで、歳入総額二十億二千六百七十二万九千円に対し歳出総額が十九億六千九百二十三万円で差引、形式収支では五千七百四十九万九千円となりました。この中には前年度からの繰越金が含まれていますので、昭和五十一年度分だけの収支、つまり単年度収支は、三千八百二十二万一千円となります。

第1表　一般会計決算額の推移　（単位：千円）

区分＼年度	50	51
歳入総額 A	2.031.593	2.026.729
歳出総額 B	2.013.315	1.969.230
形式収支（A－B）C	18.278	57.499
翌年度へ繰越すべき財源D	－	－
実質収支（C－D）E	18.278	57.499
単年度収支（E－前年度E）F	5.014	38.221

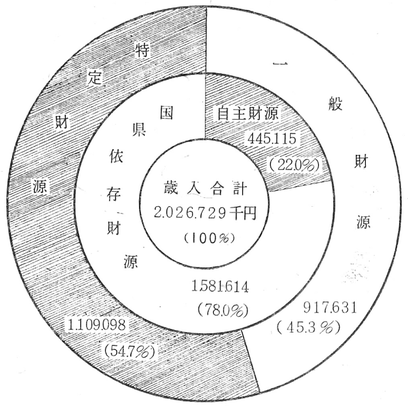
二、収入の状況

歳入の中で、一番大きな割合を占めているのが、地方公付税で、全体の二七、八％にあたり、次に国庫支出金の二一、五％、町税の一四、九％、町債一四、〇％の順となっております。

(1) 財源の構成

財源の構成についてみてみますと、歳入のうち町全体で調達できる町税、使用料及び手数料等の自主的な財源と、国から配分される、地方交付税、国庫支出金や、県から配分される県支出金など、国、県に依存している財源とに分けてみますと、第一図に示すとおり、自主財源二二％、国、県依存財源七八％となり、自主財源に占める割合が極めて低くなっております。

第1図 財源の構成



(2) 町税

次に歳入のうち、町税について概要を説明します。五十一年度の町税収入は、総額三億百八十一万八千円で、前年度にくらべて、五千四百九十三万四千円、二二、二％の伸びとなっております。税目別の収入状況は、次に示す第三表のとおりです。

第2表　昭和51年度　一般会計才入決算額の状況　（単位：千円）

区分	昭和51年度 決算額 (A)	構成比	昭和50年度 決算額 (B)	構成比	比較増減 増減額 (A)－(B)＝(C)	C/B×100
1. 町税	301.818	14.9	246.884	12.2	54.934	22.2
2. 地方譲与税	19.113	0.9	10.446	0.5	8.667	83.0
3. 自動車取得税交付金	14.016	0.7	11.899	0.6	2.117	17.8
4. 地方交付税	562.676	27.8	536.268	26.4	26.408	4.9
5. 交通安全対策特別交付金	1.730	0.1	1.777	0.1	△ 47	△ 2.6
6. 分担金及び負担金	25.530	1.2	29.620	1.5	△ 4.090	△ 13.8
7. 使用料及び手数料	30.087	1.5	25.392	1.3	4.695	18.5
8. 国庫支出金	436.568	21.5	609.876	30.0	△ 173.308	△ 28.4
9. 県支出金	256.711	12.7	222.362	10.9	34.349	15.4
10. 財産収入	8.910	0.4	5.746	0.2	3.164	55.1
11. 寄付金	3.138	0.2	1.655	0.1	1.483	89.6
12. 繰入金	7.500	0.4	23.526	1.1	△ 16.026	△ 68.1
13. 繰越金	18.278	0.9	23.565	1.2	△ 5.287	△ 22.4
14. 諸収入	57.354	2.8	50.777	2.5	6.577	12.9
15. 町債	283.300	14.0	231.800	11.4	51.500	22.2
歳入合計	2.026.729	100.0	2.031.593	100.0	△ 4.864	△ 0.2

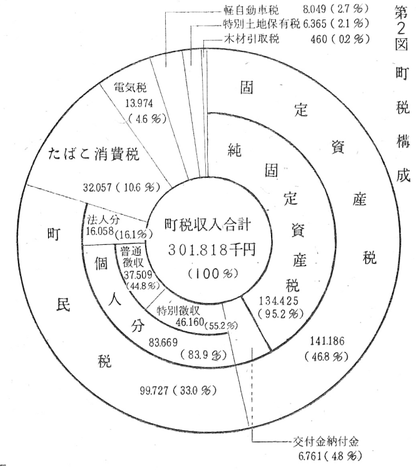
三、支出の状況

五十一年度の歳出決算額は、十九億六千九百二十三万円で、最終予算額二十億一千百二千円に対し九七、九％の執行率となっております。

支出の状況を、目的別（款別）にみてみますと第四表のとおりで、土木費が総額の二六、六％を占め、次に農林水産業費一七、三％民生費一五、二％の順となっております。

これを性質別に区分してみますと、第五表第三図のとおりです。

第2図 町税構成



第3表　昭和51年度町税収入状況　（単位：千円）

税目別	調定額	収入額	徴収率
1. 町民税	101.715	99.727	98.0
(イ) 個人分	85.287	83.669	98.1
(ロ) 法人分	16.428	16.058	97.7
2. 固定資産税	144.741	141.184	97.5
(イ) 土地	66.230	64.524	97.4
(ロ) 家屋	60.712	59.147	97.4
(ハ) 償却資産	11.038	10.754	97.4
(ニ) 交付金	632	632	100.0
(ホ) 納付金	6.129	6.129	100.0
3. 軽自動車税	8.049	8.049	100.0
4. たばこ消費税	32.057	32.057	100.0
5. 電気税	13.974	13.974	100.0
6. 木材引取税	460	460	100.0
7. 特別土地保有税	6.365	6.365	100.0
合計	307.361	301.818	98.2

第5表　昭和51年度一般会計決算額の状況　（性質別）　（単位：千円）

区分	昭和51年度 決算額 (A)	構成比	昭和50年度 決算額 (B)	構成比	比較増減 増減額 A－B (C)	C/B×100
1. 人件費	572.949	29.1%	495.751	24.6%	77.198	15.6
2. 物件費	144.360	7.4	135.001	6.7	9.359	6.9
3. 維持補修費	12.539	0.6	15.052	0.7	△ 2.513	△ 1.7
4. 扶助費	137.126	7.0	114.499	5.7	22.627	19.8
5. 補助費等	64.722	3.3	70.009	3.5	△ 5.287	△ 7.6
6. 公債費	136.208	6.9	109.387	5.4	26.821	2.5
7. 投資及び出資金	120	－	130	－	△ 10	△ 7.7
8. 貸付金	32.277	1.6	32.088	1.6	189	0.6
9. 繰出金	51.000	2.6	51.368	2.6	△ 368	△ 0.7
10. 投資的経費	817.929	41.5	990.030	49.2	△ 172.101	△ 17.4
(1) 普通建設事業	775.056	39.3	925.413	46.0	△ 150.357	△ 16.2
(2) 災害復旧事業	11.046	0.6	37.010	1.8	△ 25.964	△ 70.2
(3) 失業対策事業	31.827	1.6	27.607	1.4	4.220	15.3
合計	1.969.230	100.0	2.013.315	100.0	△ 44.085	△ 2.2

第4表　昭和51年度一般会計歳出決算額の状況　（単位：千円）

区分	昭和51年度 決算額 (A)	構成比	昭和50年度 決算額 (B)	構成比	比較増減 増減額 A－B (C)	C/B×100
1. 議会費	41.631	2.1%	37.908	1.9%	3.723	9.8
2. 総務費	289.879	14.7	233.369	11.6	56.510	24.2
3. 民生費	299.383	15.2	270.947	13.5	28.436	10.5
4. 衛生費	64.136	3.3	56.146	2.8	7.990	14.2
5. 労働費	31.929	1.6	27.608	1.4	4.321	15.7
6. 農林水産業費	341.071	17.3	293.013	14.6	48.058	16.4
7. 商工費	27.446	1.4	27.001	1.3	445	1.7
8. 土木費	524.011	26.6	613.153	30.5	△ 89.142	△ 14.5
9. 消防費	26.612	1.4	20.952	1.0	5.660	27.0
10. 教育費	172.233	8.7	272.431	13.5	△ 100.198	△ 36.8
11. 災害復旧費	11.047	0.6	37.010	1.8	△ 25.963	△ 70.2
12. 公債費	136.208	6.9	109.387	5.4	26.821	24.5
13. 諸支出金	3.644	0.2	14.390	0.7	△ 10.746	△ 74.7
歳出合計	1.969.230	100.0	2.013.315	100.0	△ 44.085	△ 2.2

特別会計について

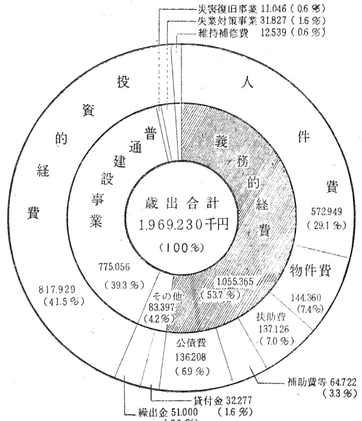
町の会計には、一般会計のほかに、五つの特別会計と上水道会計があります。この会計は何れもその事業自体の収入または、それ以外の特定収入を財源として運営されるもので町の条例や地方公営企業法に基づいて設置され一般会計と区分して経理されますが、これらの事業が一般会計で行なう各種の事業、または施策とあいまって、本町発展と町民福祉の向上を推進しています。

昭和五十一年度の決算状況は、次のとおりです。

第6表　一般会計財産及び町債現在高

財産		町債	
1. 土地	2.059.158.14㎡	1. 一般公共事業債	273.705千円
(1) 宅地	211.104.14	2. 一般単独事業債	290.255
(2) 山林	1.848.054.00	3. 公営住宅建設事業債	246.682
2. 建物	45.572.72	4. 義務教育施設整備事業債	186.521
(1) 木造建物	1.891.35	5. 災害復旧債	24.395
(2) 非木造建物	43.681.37	6. 一般廃棄物処理事業債	27.867
3. 有価証券	2.128千円	7. 厚生福祉施設整備事業債	94.383
4. 出資による権利	8.668 〃	8. 減収補てん債	10.100
5. 基金	900 〃	9. 財政対策債	37.700
		10. 交付税振替分	74.500
		11. 県貸付金	63.503
		12. その他	115.800
		計	1.445.411

第3図 昭和51年度一般会計性質別決算状況



昭和51年度水道事業貸借対照表

(51.3.31現在)

1. 固定資産	469.841.360円
(1) 有形固定資産	469.807.080
土地	13.189.249
建物	23.047.418
構築物	308.316.952
機械及び装置	124.740.244
工具器具及び備品	485.217
車輛及び運搬具	28.000
(2) 投資	34.280
投資有価証券	34.280
2. 流動資産	25.809.344
(1) 現金預金	14.196.951
(2) 営業未収金	6.227.034
(3) その他の未収金	1.897.600
(4) 貯蔵品	2.323.310
(5) 仮払金	1.164.449
3. 流動負債	30.372.200
(1) 営業未払金	672.200
(2) その他の未払金	9.700.000
(3) 一時借入金	20.000.000
4. 資本金	446.272.944
5. 剰余金	19.005.560
(1) 資本剰余金	34.319.540
(2) 欠損金	15.313.980
当年度純損失	6.949.623

昭和51年度水道事業損益計算書

(51.4.1～52.3.31まで)

1. 営業収益	74.463.520円
(1) 給水収益	73.621.705
(2) 受託工事収益	440.175
(3) その他の営業収益	401.640
2. 営業費用	51.657.541
(1) 原水及び浄水費	9.847.889
(2) 配水及び給水費	879.361
(3) 受託工事費	139.607
(4) 総係費	25.294.008
(5) 減価償却費	13.903.145
(6) 資産減耗費	1.563.419
(7) その他の営業費用	30.112
3. 営業外収益	2.613.170
(1) 加入負担金	2.448.000
(2) 受取利息及び配当金	164.770
(3) 雑収益	400
4. 営業外費用	32.368.772
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	32.368.772
当年度純損失	6.949.623

昭和51年度 特別会計決算状況

（単位：千円）

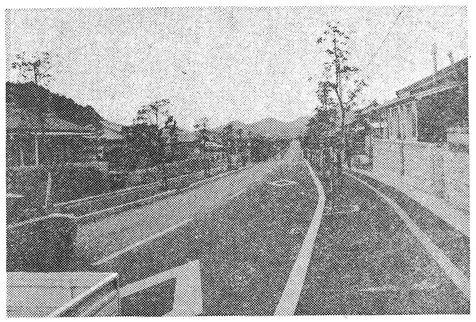
会計名	予算額 (A)	歳入決算額 (B)	歳出決算額 (C)	実質収支額 (B)－(C)
1. 国民健康保険事業	386.862	397.410	338.602	58.808
2. 中須土地区画整理事業	56.184	56.218	31.994	24.224
3. 草川土地区画整理事業	143.716	143.720	123.968	19.752
4. 土地取得	4	35	－	35
5. 公共施設整備等	71.552	71.647	3.500	68.147
合計	658.318	669.030	498.064	170.966

上水道事業会計について

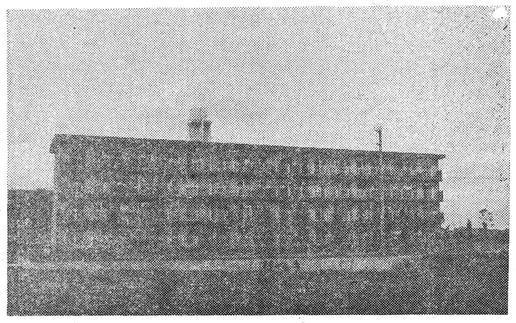
最近、都市化の進展により水道用水の需要は、年々増大してまいり、これらの水需要に対処するため、配水設備の拡張改良を行っています。

昭和五十一年度は、加草区画整理地内、西の山団地内上の町、平城通り線の配水本管設備（延長四、八八二米）を完了しました。

なお決算状況は次のとおりです。



簡易保険の融資を受け平城団地と町中央幹線を結ぶ門川農高通線完成（昭和五二年度事業費七〇、〇〇〇千円のうち九、〇〇〇千円融資）



簡易保険の融資を受け門川町初の中高層第二種四階建西ノ山公営住宅が完成（総事業費一三八、一三四千円のうち五二、八〇〇千円融資）

戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法の改正について

一、支給範囲の拡大

現行法では日華事変以降の戦没者の遺族に対して特別弔慰金が支給されておりましたが、今回の法改正により

(1) 満洲事変対象者（戦没時期に係る対象範囲の拡大）

満洲事変間（昭和六年九月十八日～昭和十二年七月六日）に公務上の傷病にかかりこれにより死亡した軍人の遺族で昭和五十年四月一日において遺族年金、公務扶助料等の受給権者がいない者に今回新たに特別弔慰金（二十万円、十年償還の無利子の国債）が支給されるようになりました。

(2) 三親等内親族対象者（転拡大）

昭和五十年四月一日において、改正前の特別弔慰金支給法の規定による遺族（父母、孫、祖父母、兄弟姉妹）がいない場合、これら遺族以外の三親等内の親族で**戦没者の死亡の日まで引き続き一年以上生計を共にしていた者であること。**

◎三親等内の親族の範囲

イ 戦没者の伯父叔母、甥姪

曾祖父母及び曾孫（血族）

ロ 戦没者の三親等内の血族の配偶者（姻族）

ハ 戦没者の配偶者（事実上の配偶者を含まない）の父母、祖父母、兄弟姉妹、伯叔父母及び甥姪（姻族）

以上今回改正された概要を説明いたしましたが、詳細につきましては住民課厚生係におたずね下さい。

尚従来の特別弔慰金請求時効期限は昭和五十三年三月三十一日となっております。まだ請求手続のすんでない方は早目に手続を取られるようお願い致します。

サラリーマンと税金

年末調整について

十二月は、源泉所得税の年末調整の月です。

サラリーマンの給与にかかる所得税は、毎月の給料やボーナスの支給の時に源泉徴収されています。ところが、毎月の税金は、その月の給料等に対する税金で概算的なものですから、一年間の給与総額に対する正当な税額（年税額）とは一致しないのが普通です。このため、その年最後に給与の支払を受ける時に、その差額を精算する必要があります。この手続を「年末調整」といいます。大部分のサラリーマンは、この年末調整によってその年の納税が完了することになります。

この年末調整は、給与総額から扶養控除や社会保険生命保険などの各種保険料控除等の金額を控除して行われますが、これらの控除の金額はサラリーマンの皆さんが勤務先に提出する申告書によって計算されますから、誤りのない年末調整が行われるためには、扶養控除などの申告を正しく行うことが大切です。

今年結婚したり、赤ちゃんが生れた方など年の中途で扶養親族に異動があった方は特に注意しましょう。

なお、多額の医療費を支払った場合の医療費控除や災害に遭った場合の雑損控除などは、年末調整ではできませんから、確定申告をして税金の精算をすることが必要です。また、住宅を新築したり、購入した人で住宅取得控除をうけられる人も、最初の分は確定申告が必要です。

年末調整について詳しいことは、税務署にお尋ねください。

昭和五十二年度 優良運転者表彰

日向地区交通安全協会では九月三十日、日向警察署に於いて優良運転者等の表彰を行ないました。

この表彰は県表彰が、

一、交通事故、交通違反を起こしたことのない者で運転免許を取得して十五年以上自動車の運転に従事している者。

二、品行方正で業務に精励し勤務成績が優秀で、かつ他の運転者の模範として表彰に値する者であること。

三、団体については多年にわたり、交通安全のために献身的に尽力し、若しくは交通安全施設整備充実のため尽力した団体であつて交通のために多大の功績のあつた団体。

支部表彰は

一、免許取得後満十年、十五年、二十年、二十五年三十年、三十五年、四十年に達した無事故、無違反の者

二、責任感旺盛で法令講習会その他協会の活動に積極的に協力し他の運転者の模範と認められる者（但し、十年に達した者は十一年、十二年、十三年、十四年は該当しない）で本町の場合

県交通安全協会長と県警本部長賞の優良運転者

交通安全優良事業所が表彰の栄に輝きました。

尚、本町における表彰式は後日挙行の予定です。表彰される人の氏名は次の通りです。

県交通安全協会
県警察本部長賞
優良運転者
松尾賢一　三ケ瀬
内山教彦　小松
高見石夫　南町
優良事業所
五十鈴林業有限会社
日向地区交通安全協会
日向警察署長賞
優良運転者
三十年
江川照治　南町
永井節一　本町
黒木春美　加草四区
二十五年
黒木光男　下納屋
姫野繁男　本町
上米良一三　栄ケ丘
後藤利雄　後向
安田義治　上ノ町
黒木　勝　五十鈴
北田隆晴　後向
佐藤武美　東栄町
中城　豪　上井野
長田繁慶　城屋敷
水永恭市　尾末東
甲斐安則　上井野
二十年
内山田順義　庵川東
長田彦一　平城東
高松照夫　中村
金丸剛泰　中山
金丸勝美　上納屋
十五年
壱岐　勲　平城東
松本徳幸　三ケ瀬
樫本勝造　本町
奥田建行　加草二区
黒木秀雄　南町
米沢トメ子　庵川東
岩田　功　〃
大木秀利　上ノ町
水永嘉彦　五十鈴
松崎五治　松瀬
黒木敬次　五十鈴
二宮節子　本町
岩井芳郎　本町
黒木高則　上井野
吉永米子　上ノ町
二宮　茂　〃
松川岩雄　松瀬
工藤　剛　東栄町
矢野義美　上納屋
中田十三喜　東栄町
松本　勇　〃
黒木マチ子　〃
南　俊孝　上ノ町
立花ミツヨ　下納屋
黒木貞夫　加草五区
米良保美　城屋敷
中村　認　竹名
岩佐春美　五十鈴
夏田　力　小園
中城堅志　後向
黒木　茂　庵川東
山口正春　上納屋三
佐々木高吉　上ノ町
藤本洋子　小松
神井　吏　本町
松川道孝　上ノ町
大森艶子　加草四区
本田和己　三ケ瀬
山下義男　中尾
宮田栄一　東栄町
一木隆一　南町
黒木　司　庵川西
原田藤助　加草二区
江川広一　平城西
森迫邦人　本町
柳田晴一　下納屋
松崎健治　加草二区
黒木野治　城屋敷
染田春夫　加草四区
黒木秀雄　南町
十年
吉永　正　上ノ町
外百四十二名の皆さん

はい こちらは 門川派出所です

歳末防犯で明るい新年をむかえましょう

※盗犯の防止

(1)空き巣ねらいは、大きな家ばかりをねらうものではありません。入りやすい家をねらいます。ちょつとの間でも家を留守にするときは必ずカギをかけ隣近所にひと声かけてたのんでおきましょう。

(2)大金や日常不用な現金は家におかないようにしましょう。

(3)銀行、郵便局、農協など金融機関から多額の現金をうけとるときは、婦女子や老人をさけ、男が行くようにし、自家用車かタクシーを利用しましょう。

(4)夜、寝る前には、もう一度戸締りを確めるとともに、家屋敷の周囲を見まわりましょう。

(5)人ごみの中では、あなたのそばにスリがいるということを忘れないようにしましょう。

(6)ハンドバツグやカバンなどは、かかえこむようにして持ち、たえず気をつけましょう。

(7)人の混み合うところでは余分な現金を持たないようにし、やむを得ず持つ場合は何か所かに分けて持つなど、持ち物にじゅうぶん注意しましょう。

(8)現金や貴重品は、外ポケットなどに入れないようにし、分けて膚に近いところにしまつておきましょう。

※暴力の追放

(1)乱暴されて被害を受けた場合や、他人が被害を受けているのを見た場合は勇気をもつてすぐ一一〇番へ通報しましょう。

(2)暴力団や不良から言いがかりをつけられたり押し売りにあつた場合には、はつきりした態度をとり相手に乗せられないようにしましょう。

使う火を消すまで はなすな目と心!!

秋の全国火災予防運動が実施されます。この運動はこれからの強風、乾燥のいわゆる火災多発期を迎えるにあたり住民の皆様一人一人の防火意識の向上をはかり火災の発生防止と人命損傷事故の絶滅を期すことを目的として展開されます。

火災の発生件数は年々増加の一途を仙り、これに伴う死者、負傷者の数も激増の傾向にあります。

最近の火災は、季節や天候、時刻を問わず発生しています。これはとりもなおさず家庭内の火災源の多様化と家人の不注意、不始末から発生しているものであり誠に憂慮に耐えません。

「使う火を消すまで離すな目と心」を統一標語に全国的にこの運動が実施されます。本町でもこれからの火災多発期が無火災で終りますよう町民一人一人の「火の用心」に特段のご協力をお願いするものであります

火災多発期到来に備え

消防団特別警戒につく!!

火災シーズンを迎え、町消防団では各部とも警戒配備につきます。

特に消防団本部では万一に備えて十二月一日から翌年二月末日まで役場職員よりなる本部員三十名が五人一班制で、毎夜の宿直および土曜、日曜、祭日の日直勤務につき常備消防に準じた警戒態勢を敷きますので火災の時には直ちに「一一九番」に通報下さい。

尚昭和五十二年度から三ケ年計画により消防車八台積載車五台に消防用無線が設置されます。まず本年度は本部（役場）第十三部（栄町）第八部（加草）の消防車に設置されます。

これにより従前火災現場が不明のまま出動していた消防車が一斉司令で火災現場水利部署等敏速適確に動き緊急時の機動化が強化されることになります。

お母さま方へ 先天性代謝異常の検査について

知恵おくれの原因はいろいろありますが、その中でも治療可能な代謝異常を早くみつけて脳の障害等がおこらないうちに治療を開始する目的で行われます。

赤ちゃんが生まれて、五～七日目に足のうらから、極く微量の血液を沪紙につけてもらい、検査をするのです。この検査を希望するときは、申込書に記入して医療機関に申し出てくだされば、検査を受けることができます。

この検査の採血料及びその他の費用は有料ですから保護者が負担してください。

この検査の検査料は公費でしますから無料です。

検査の結果は、採血した医療機関へおたずね下さい。

くわしい事は各助産院におたずね下さい。（宮崎県）

九電だより

作業停電にご理解とご協力を

電気をいつでもご満足にお使いいただけるように……これが九州電力の願いですしかし、

☆電気の新規お申込みに伴う電線の張替や変圧器のあげかえ作業

☆道路拡張や宅地造成などお客さまの要請による電線路の変更作業

☆事故を未然に防ぐための補修作業

などが必要です。

工事によつては、作業者の安全と作業の能率向上のためやむをえず停電させていただくことがあります。

なお、作業停電の日時は事前に広報車、新聞などでお知らせしておりますのでご迷惑をおかけしますが、事情をご理解いただきご協力くださいますようお願いします。

タコあげは 電線のないところで

タコあげのシーズンです。お父さま、お母さまへお願い。電線の近くでは、タコを絶対あげないように、お子様へご注意ください。

九州電力では、五十一年度に全九州で、電線にひつかかつた約五、二〇〇個のタコを除却しました。

電線にかかつたタコは、危険ですから自分でとらずに近くの九州電力へご連絡ください。

☆タコをとろうとして電柱にのぼるのはやめましょう。

☆タコをとろうとして、糸をひつぱつたり電線を竹ざおなどでつつくのは大変危険です。

そのために停電して近所のみなさまに大変迷惑をかけることがあります。

高血圧・脳卒中について

高血圧脳卒中が最近非常に多く、日本中で三分間に一人脳卒中で倒れています。日本人の食習慣の関係が密接でごはんの食べ過ぎや食塩のとり過ぎは高血圧を促進しますからと医師からの食生活への注意を受ける人は多いと思うが医師は熱量蛋白質、脂肪、糖質の配分など指示しながら、食事の内容までよく知らない場合が多いようです。

栄養士は、栄養士で病気の本質を十分理解せず、指示伝票頼りの献立を作ることも多く、まして家族の人が食事を作る段になれば暗中模索になるでしょう。

高血圧の予防と回復には、食事療法がまず第一です。

高血圧の食事で言える事はバランスの取れた食事をする事です。

バランスの取れた食事とは

一、緑黄野菜　一〇〇g

二、その他野菜二〇〇g と果物　一五〇g

三、肉、魚　一三〇g

卵を　五〇g

四、穀類　四三五g

五、牛乳　二二〇

六、油脂　二〇g

以上は一日中に取らねばならない食品です。塩分は一日一〇g以下におさえて下さい。

寄附お礼

社会福祉事業に役立てて下さいと、金一封のご寄贈を戴きました。

その志を有効に活用させて頂きますと共に、ここに厚くお礼申し上げます。

一金弐万円　日向管工協同組合

一金壱万円　匿名希望

社会福祉法人
門川町社会福祉協議会

戸籍の窓

出生おめでとう

子の氏名	父母の名	住所
黒川　美貴	信義	南町
小野　知香	照男	下納屋
飯干しのぶ	幸八郎	上井野
請関　秀樹	忠一	加草四
今村　香梨	勝	西栄町
黒木　誠一	雄一	加草四
山田　史朗	茂博	東栄町
酒井　豊博	博生	〃
大野かおり	隆義	栄ケ丘
岩佐祐美子	祐一	平城東
日吉真由美	孝寿	加草二
日高　貴志	鉄夫	〃一
浜田　貞治	正剛	平城東
松本　和志	泰男	加草四
帯谷　未希	良一	東栄町
山松さわ子	哲治	下納屋
米良　貴彦	茂	中山
中田　美香	節男	下納屋
津隈　清郎	上納屋	加草五
和田　康代	作利	庵川西
藤沢和歌子	輝明	加草二
黒木美恵子	喜隆	東栄町
松尾　志穂	森吉	南町
吉塚　瞳	秀男	下納屋
児玉　健一	中尾	弘
桝田　美樹	幸吉	加草四
安在　修一	秀文	平城東
和田伸一郎	博元	庵川西
長友　裕介	秀雄	上の町
佐藤久美子	正一	西栄町
津島　直樹	育男	平城東
米良　幸男	利和	中村
土橋由未子	国男	南町
岡崎　美紀	猛	本町
塩崎　辰哉	勝一	西栄町
塩崎　景子	国隆	平城西
清山　真琴	紘司	〃
菊田　一	兼良	本町
中村　鮎美	武男	加草一
石崎めぐみ	幹夫	南町
川崎　美紀	義広	中村
簑毛　勝己	信行	上の町
米良　路朗	義美	〃
高橋　嘉一	伸一	加草一
丹田　直寿	修生	上の町
金丸　良秋	良一	平城東
小田　剛士	栄蔵	平城西

ご結婚おめでとう

東栄町 都城市	松田 一彦	上村 純子
五十鈴 平城東	黒木 守	樋口 鈴子
上井野 日向市	志田 藤雄	山本 りえ
平城東 佐賀県	金丸 祝見	友広はす子
庵川西 日向市	浜田 春俊	関本 育子
庵川東 日向市	横井嘉次郎	一ノ宮多恵子

ごめい福を祈る

死亡者氏名	年令	住所
右松　タメ	73	白石病院
田崎　崇人	57	東栄町
河野　トク	75	加草一区
金井　利夫	40	平城西
赤沢　トミ	83	特老
永田　泉	88	加草三区
岩田　ケサ	81	上納屋一
浜田　ゼン	78	庵川西
高松徳三郎	76	松寿園
中村　恒久	30	中尾
中田　勝義	57	加草一
本田友太郎	53	上納屋一
押川　誠	4	五十鈴
金丸　藤八	88	加草二区
岩井新一郎	83	小松
米良　広美	73	城屋敷
小野　イソ	82	松寿園
黒田　隆紀	0	下納屋
園田　ヤス	94	特老
白木　勝美	50	城屋敷
柏田　静子	48	加草二区
請関　リツ	87	〃
田中　又治	84	松瀬
松村　芳野	73	西栄町
岡田　信代	7	東栄町
安田紋太郎	81	城屋敷
安藤　福光	45	加草四区
和田　康代	20	庵川西
金丸　俊一	24	上の町
松尾　フサ	81	東栄町
黒木　キク	76	上井野
川崎弥三郎	80	中村
日向市 上井野	是則博臣	猪倉八重子
延岡市 加草五	大塚信晴	大谷範子
中塚村 諸塚	金丸昭一	藤本頼子
下納屋 西栄町	矢野重徳	黒川純子
平城東 東郷町	金丸隆	那須三栄
加草二 北浦町	工藤辰美	戸高まり子
日向市 上井野	松本公定	栗田正子
日向市 中尾	菊田茂	坂本由美子

香典返しお礼

上納屋三 小松	故本田友太郎殿
故岩井新一郎殿	故米良広美殿
城屋敷 加草	故金丸藤八殿
故安藤房吉殿	南町
故園田ヤス殿	加草三区
故小野イソ殿	西栄町
故黒田隆記殿	下納屋
故白木勝美殿	城屋敷
故柳田静子殿	加草二区
故請関リツ殿	〃
故松村芳野殿	西栄町
故田中又治殿	松瀬
故安田紋太郎殿	城屋敷
故岡田信代殿	東栄町
故金丸俊一殿	上の町
故黒木キク殿	上井野
故松尾フサ殿	東栄町
故川崎弥三郎殿	中村
故長友俊夫殿	本町
故姫野忠敬殿	上納屋三
故山下恵殿	下納屋
故水永ハツ殿	本町

右の方々には、不幸にして、ご逝去なされ、喪主の方より香典返しとして、金一封を社会福祉事業にとご寄贈いただきました。

ここに厚くお礼申し上げますと共に、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます

尚使途につきましては、その主旨にそいまして、社会福祉事業に活用させて、頂きたいと存じます。

一金弐万円　本田シズ子殿
一金参万円　岩井精治殿
一金参万円　米良元茂殿
一金弐万円　金丸和美殿
一金五千円　安藤信吉殿
一金三万円　岡田嘉男殿
一金壱万円　小野薫殿
一金壱万円　黒田留男殿
一金五千円　白木きわ子殿
一金壱万円　柳田宝一郎殿
一金弐万円　請関藤喜殿
一金壱万円　松村重樹殿
一金弐万円　田中正之殿
一金弐万円　安田茂殿
一金壱万円　岡田勲殿
一金弐万円　金丸悦夫殿
一金参万円　黒木栄一郎殿
金一封　松尾志郎殿
一金弐万円　川崎馨殿
一金弐万円　長友カツ殿
一金壱万円　姫野シズ子殿
一金壱万円　山下トシエ殿
一金参万円　水永松子殿

社会福祉法人
門川町社会福祉協議会

11月1日現在

世帯数	人口 男	人口 女	計
4.766 (4.750)	8.326 (8.305)	9.133 (9.102)	17.459 (17.407)

（　）内は10月1日現在